

自然環境との調和

建築都市工学部
都市デザイン工学科
教授

内田 泰三



研究シーズの紹介

本研究室では、自然環境の保護・保全・再生(復元)・修復・創出に資する手法について、動植物、とくに植物の生理生態から研究を行っています。

たとえば、近年では、右記した研究を行政や地域住民などと実施しています。

- 外来植物の抑制 (中間市・奈良市・帯広市)
- 崩壊斜面の植物による侵食防止 (鹿児島市)
- 廃道における野生動物の利用実態 (日田市)
- 地域資源の利活用 (阿蘇市)
- 街路樹と都市の生物多様性 (福岡市)
- 里山管理と地域活性 (新宮町) など



サステイナブルな
社会を目指して

- 都市/農村計画・自然再生・環境教育



期待される活用シーン

- こどもたちに自然の大切さを伝えたい



自然教室の開催 (立花山植物観察会・小学校プール清掃&ヤゴ採り教室・唐原川魚とり教室など)



- 自然環境との共生を目指したまちづくりを展開したい



風土に根ざしたグリーンインフラストラクチャーを提案



その他の研究テーマ

防災・減災に配慮した国土整備